

製品名: Olig2 (15Z2) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe15345**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	32kDa

抗原情報

遺伝子名	OLIG2
別名	Oligo2; bHLHb1; Class E basic helix-loop-helix protein 19; bHLHe19; OLIG2; BHLHB1; BHLHE19; PRKC;
遺伝子 ID	10215.0
SwissProt ID	Q13516
免疫原	ヒト Olig2 の合成ペプチド

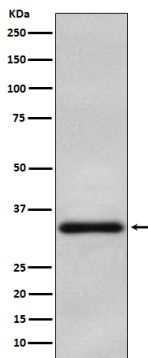
背景

Olig2 は、脊髄におけるオリゴデンドロサイトと運動ニューロンの分化、および後脳における体性運動ニューロンの発達に必要です。OLIG1 と連携して、胚性神経管の pMN ドメインを確立します。V2 介在ニューロンおよび NKX2-2 誘導性 V3 介在ニューロンの発達の拮抗薬です。脊髄におけるオリゴデンドロサイトと運動ニューロンの分化、および後脳における体性運動ニューロンの発達に必要です。ZNF488 と連携して、オリゴデンドロサイトの分化を促進します。OLIG1 と連携して、胚性神経管の pMN ドメインを確立します。V2 介在ニューロンおよび NKX2-2 誘導性 V3 介在ニューロンの発達の拮抗薬です。

研究分野

神経科学

画像データ



ヒト乏突起膠腫溶解物中の Olig2 のウェスタンブロット分析。